

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化・スポーツ振興事業			会計	款	項	目	大	小
				01	-1	0	01	-0	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化・スポーツ等の大会等へ出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体	意図	文化・スポーツの振興・奨励
事業内容	文化・スポーツの大会への出場又は、優秀な成績を収めた市民、団体からの申請により、審査会の意見を聞いて、教育委員会が奨励金の交付の可否を決定し、奨励金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化				

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		奨励金交付件数	10	8	18	件	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,186,620	2,046,360	1,848,224			
事業費(b)(円)		105,000	90,000	190,000			
うち一般財源		105,000	90,000	190,000			
職員給与費(c)(円)		2,081,620	1,956,360	1,658,224			
人役・職員(人)		0.29	0.28	0.24			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	文化・スポーツの振興を推進するため、交付基準等の見直しを図っていく。
今年度(H26)に実施した取り組み	文化スポーツの振興を推進するため交付決定を行った。

取り組みの課題	基準内においても、大会により出場者数や規模の違いがあり、基準の精査が必要
今後の改善計画	交付対象を含めた制度設計について検討する。